

姫路商工会議所
2024年度 第1回 経営発達支援事業評価委員会
開催報告

1. 日 時 2024年 6月27日（木） 10時00分～11時20分
2. 場 所 当所3階 特別会議室
3. 出席者 大前 晋 氏（姫路市 観光経済局 局長）
西谷 美貴 氏（兵庫県中播磨県民センター 副センター長）
畠 豊 氏（兵庫県公立大学法人兵庫県立大学 理事兼副学長
社会価値創造機構長）
佐藤 文昭 氏（株日本政策金融公庫 姫路支店長兼国民生活事業統轄）
濱田 聰 氏（濱田聰経営会計事務所 所長・公認会計士）
合田専務理事、浅田理事・事務局長、名倉部長、橋本
4. 欠 席 澤田 恒 氏（澤田・中上・森法律事務所 弁護士） ※書面審議
5. 議 事 経営発達支援事業評価について経営発達支援計画の概要 及び 当所全体の取り組みを説明後、「経営発達支援事業」のそれぞれの項目の概要と目標値及び実績等について説明をする。
各委員からの意見については、下記のとおり。
- （1）目標未達の項目もあるが、特に重要な項目において（窓口相談件数等）目標を大きく上回る成果があり、トータルとして目標を達成していると判断する。
- （2）多岐にわたる事業により、幅広い支援を行っている。多くの項目で目標を達成しているだけでなく、事業実施においても工夫が見られ、高く評価できる。未達成の項目についても実施方法の変更に伴う数値見直しができれば達成できていたのではないかと考える。それぞれの事業を検証し次期計画策定に活かすことと、目標設定にあたっては、数値の精査、アウトカム指標の検討等を期待したい。
- （3）全体的に達成率は80～99%であり、十分な活動をされている。「3」と評価したが、自己評価「2」の6.（2）①は達成率こそ低いが、十分な活動であり、「4」としても妥当であると思われる。

- (4) 大半の項目で目標を達成している。ビジネスマッチング支援についても、目標には達成していないが、商談会の開催等ではなく個別相談の中のみでの件数として考えれば、十分に評価できる。
- (5) 全体としてよくされていると思う。その中でも、活動が総花的にならないように重点項目に力を注いでいただきたいと思う。例えば、補助金申請で新たに会員になられた事業者のその後のフォローをしっかりしていただくことで、事業承継・継続企業として残られる事業者を少しでも多く残していただきたいと思う。「姫路の経済は、会議所に聞けばわかる」という印象を会員の方に持っていただけるように今後も活動を続けていっていただきたいと思う。
- (6) 多彩な事業をやっておられ、特に窓口相談件数、事業計画策定件数、事業承継計画策定件数が多いので、職員が過重労働にならないか心配になるほどである。このような商工会議所の事業を外部に発信できれば、会員数の増加に繋がるのではないかと思われる。ビジネスマッチング支援など目標未達の事業もあるが、努力だけではどうにもできない事業があるので、あまり気にする必要はないと思われる。

以 上